

2023年5月17日

旭海運、セブ島でマングローブ植樹活動

旭海運（根元聡社長）は4月23日と5月14日、フィリピンのセブ島タブエラン地区で同社主催のマングローブ林の再生を目指した植樹ボランティア活動を行った。同社が16日発表した。

この活動は、過去の台風による甚大な環境被害の復旧の一環。今回の対象面積は約2万㎡で、約2500本を植えた。植樹参加者の延べ人数は約250人。二回目の植樹の際には現地在住の旭海運社員に加えて日本から役員・社員が参加し、地元の自治体や団体の幹部などの同席の下で記念式典も行った。今後は植樹したマングローブの生育状況のモニタリングを行い、来年以降の植樹活動に備える。

旭海運は「フィリピンは、乗組員と海技者の採用や若手社員の留学派遣などを通じ、当社と特に関係が深い国。今後もさまざまな社会貢献活動を行っていく」としている。



海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.